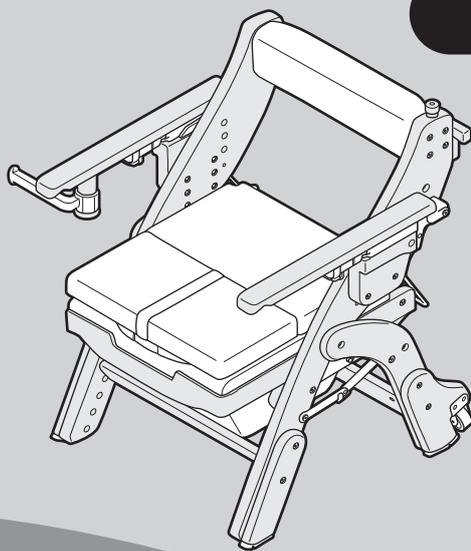


安^{あんじゅ}寿

折りたたみ家具調トイレ キャスター付

共通取扱説明書



標準便座

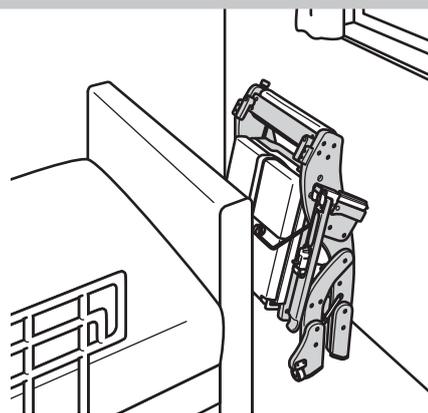
ソフト便座

最大使用者体重：100kg

このたびは折りたたみ家具調トイレシリーズをお求めいただきまして、まことにありがとうございます。この製品はトイレまでの移動が難しく自分自身の力で排泄されたい方から介助を必要とされる方まで、快適で清潔にお使いいただけます。正しくお使いいただくため、ご使用前にこの取扱説明書と保証書を必ずお読みください。



使わないときは、折りたたんで収納できます



※この製品は開梱の段階では脚の棧（読み方：さん）をひもで縛って固定しています。
設置場所まで運んでから、ひもを外してください。

運びかた P. 7へ

保存版
(保証書付)

ARONKASEI CO.,LTD.

取扱説明書を読んだ後は必ず保管してください。



もくじ



確認しましょう
P. 3～4

- ・梱包品の確認…………… 3
- ・各部の名称…………… 3～4
- ・商品の寸法図と仕様…………… 4



安全上のご注意
P. 5～6



ご使用の前に
P. 7～10

- ・本体の開きかた…………… 7
- ・便座（補高脚）、ひじ掛けの高さ調節 …… 8～9
便座の高さを調節する …… 8
ひじ掛けの高さを調節する …… 9
- ・ペーパーホルダーを取り付けましょう…………… 10
- ・吸着便座シートを取り付けましょう…………… 10



使いましょう
P. 11～17

- ・製品の折りたたみかた、開きかた…………… 11～12
折りたたみかた …… 11～12
開きかた …… 12
- ・製品の移動のしかた…………… 12
- ・ひじ掛けの操作方法…………… 13～14
自動でロックがかかる設定 …… 13～14
自動でロックがかからない設定 …… 14
- ・使いかた…………… 15
- ・汚物処理の準備…………… 15～16
使用前の準備のしかた …… 15～16
汚物処理のしかた …… 16
- ・より快適にご使用いただくために…………… 16～17
移乗のしかた（例）…………… 17
- ・こんな使いかたができます…………… 17



お手入れしましょう
P. 18～21

- ・お掃除のしかた…………… 18～21
- ・点検のしかた…………… 21
- ・保管のしかた…………… 21



困ったときには
P. 22～23

- ・交換部品…………… 22
- ・よくあるご質問…………… 22
- ・保証とアフターサービス…………… 22～23

確認しましょう

安全上のご注意

ご使用の前に

使いましょう

お手入れしましょう

困ったときには

👉 確認しましょう

梱包品の確認

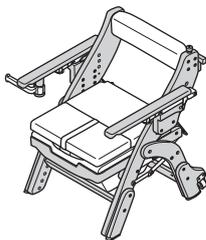
梱包品が揃っているか、下のイラストを見ながら確認してください。



ご購入いただきました製品によって、梱包品が異なります。
組み立てる前に、購入した製品にレ点を付け、ご確認をお願いいたします。

全タイプ共通

本体



ペーパーホルダー
軸受け



防臭消耗品

ペーパー
ホルダー



ペーパーホルダー
軸受け固定用ボルト
1本
(M6 × 100mm)



六角レンチ
1本



便座の種類

※本体に組みつけられています

標準便座

標準便座

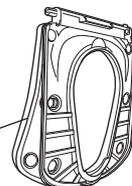


吸着便座シート



ソフト便座

ソフト
便座



便座
ベース板

各部の名称

ひじ掛けロック部

ロックキー
固定部材

ひじ掛け
ロックキー

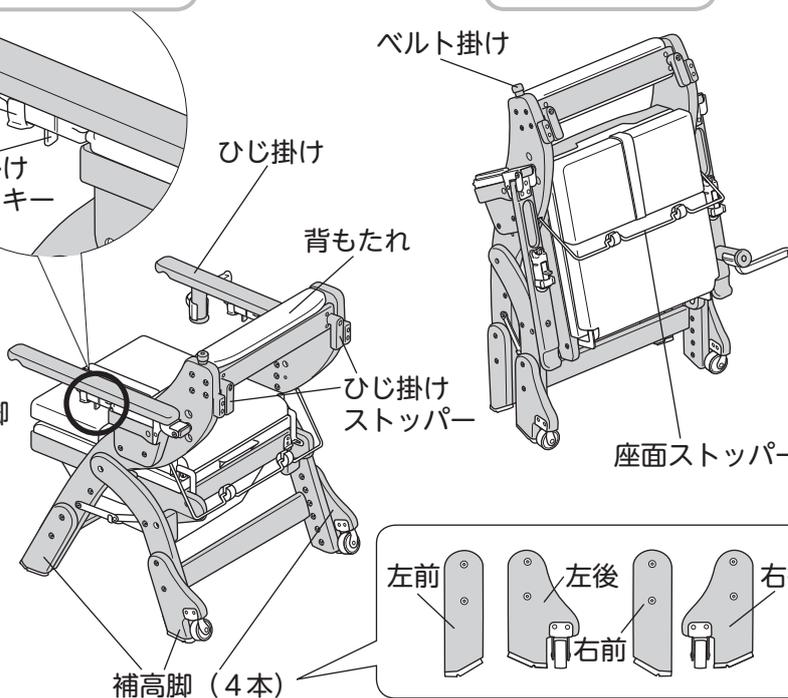
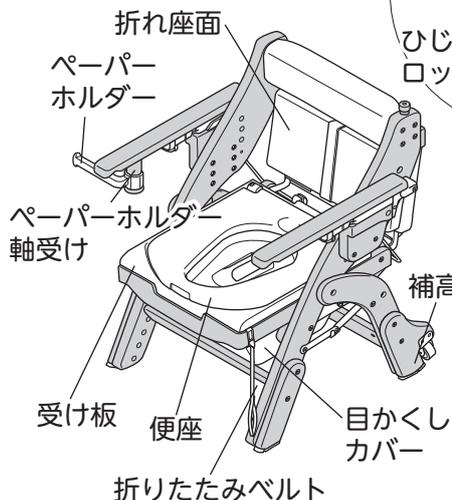
折りたたみ時

ベルト掛け

背もたれ

ひじ掛け
ストッパー

座面ストッパー



左前

左後

右前

右後

補高脚 (4本)

確認しましょう

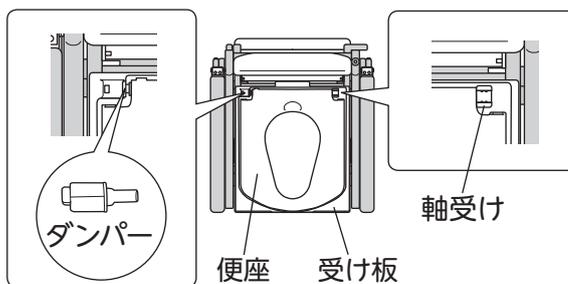
安全上の注意

ご使用前に

使いましゅう

お手入れしましゅう

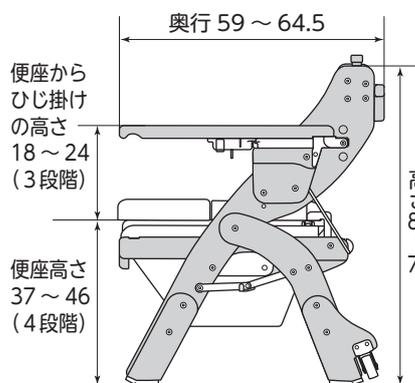
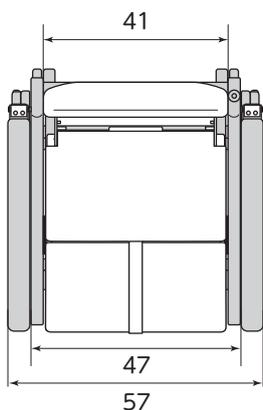
困ったときには



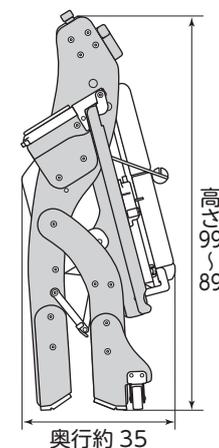
商品の寸法図と仕様

商品寸法図

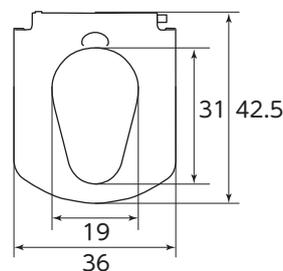
単位：cm



●折りたたみ時



●便座寸法図



※座面クッションの大きさは、
便座高さ + 4cm です
(座ると沈み込みます)
※便座高さ 43・46cm の
奥行は、前脚からキャス
ターまでの数値です

仕様

■全タイプ共通

品名		折りたたみ家具調トイレ (標準便座/ソフト便座) キャスター付	
構成部材	全タイプ共通	部品名	材質
		構造部材	天然木 (ラバーウッド)
		表面加工	ウレタン樹脂塗装
		張り材	合成皮革 (PVC)
		クッション材	ウレタンフォーム
	標準便座タイプ	便座	ポリプロピレン (抗菌加工)
		吸着便座シート	表面：ポリエステル 80%、キュプラ 20% 裏面：アクリル樹脂
	ソフト便座タイプ	便座	EVA 樹脂 (抗菌加工)
		便座ベース板	ポリプロピレン
バケツ容量		約 9L	
サイズ		幅 57 × 奥行 59 ~ 64.5 × 高さ 74 ~ 83cm (便座高 37・40・43・46cm)	
重量		約 15.5kg	

廃棄上のご注意

お住まいの地域の分別ルールに従って廃棄してください。

確認しましょう

！安全上のご注意

✖ご使用前に

使いまししょう

お手入れしまししょう

？困ったときには

！ 安全上のご注意

ここに示した注意事項は、守っていただかないと人身事故や家財の損傷に結びつくものです。製品を安全にお使いいただくための重要な内容ですので、必ずお守りください。



警告

誤った使いかたをすると「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を説明しています。

！ 必ず行うこと ！

毎回ご使用の前にネジやボルトがゆるんでいないか、各部にガタつきなど、異常がないか点検すること

本体が不安定となり、けがの原因になります。



詳しくは…P.21へ

身体状況が不安定な方（ふらつきのある方など）は介助者がつきそうこと

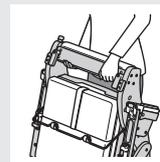
転倒や、けがの原因になります。

ふらつきがある方など



折りたたんだ状態の製品を運ぶ時は背もたれを持つこと

背もたれ以外を持つと、製品が破損したり、指を挟んでけがをする可能性があります。



車いすから移乗する場合は、車いすのブレーキをかけてから移乗すること

ブレーキをかけていないと、車いすが動きだし、転倒やけがの原因になります。



本体に体を十分に近づけてから座ること

本体が離れていると浅座りになり、転倒やけがの原因になります。



⊘ 絶対にしないこと ⊘

絶対に分解・修理・改造をしないこと



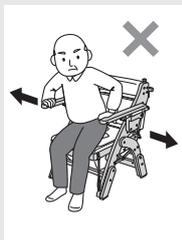
本体機能が正常にはたらかず、けがの原因になります。

分解禁止

製品に過度な力や強い衝撃を加えないこと

- ひじ掛けや背もたれを手すり代わりにする
- 立ち座り時にひじ掛けに全体重がかかるような過度な横方向の力を加える
- 便座・座面の上に立つ
- 製品を落とす
- ひじ掛けの上に腰かける …など

製品に過度な力や強い衝撃を加えると、破損し、転倒やけがの原因になります。



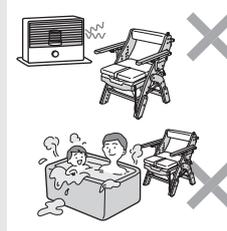
床が平坦でないなど、不安定な場所には設置しないこと

製品の変形などにより、転倒やけがの原因になります。

近くに火気や水気がある場所には設置しないこと

- 浴室内など湿気の多い場所
- ストープなど火気が近くにある場所
- 直射日光の当たる場所

火災や変色の原因になります。



正常でない状態では使用しないこと

- ひじ掛けや補高脚を取り外している状態



- 補高脚の高さが前後左右で異なる状態
- 補高脚を前後左右入れ替えた状態
- 各部のボルトがゆるんでいる状態

など、正常でない状態で使用すると、製品が破損したり、転倒やけがの原因になります。

確認しましょう

安全上のご注意

ご使用の前に

使いましょう

お手入れしましょう

困ったときには



警告

誤った使いかたをすると「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を説明しています。

絶対にしないこと

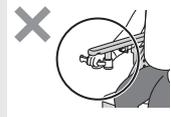
体重が 100kg を超える方は使用しないこと

本体が破損し、転倒やけがの原因になります。



ペーパーホルダーを手すり代わりにしないこと

転倒やけがの原因になります。



子どもを遊ばせるなど、ほかの用途では使用しないこと

けが、破損の原因になります。



人が座った状態のままや物を乗せた状態のまま移動させないこと

けが、破損の原因になります。



注意

誤った使いかたをすると「傷害または財産への損害が発生する可能性が想定される」内容を説明しています。

必ず行うこと

折れ座面の開閉は必ず持ち手部を持っておこなうこと

別の部分を持っておこなうと、指をはさむ原因になります。



バケツ蓋は外した状態で座ること

バケツや便座に取り付けた状態で座るとお尻に接触し、けがの原因になります。



絶対にしないこと

製品を引きずらないこと

床を傷つける可能性があります。

**バケツに水や汚物が入っている状態で、移動や便座の高さ調節をしないこと
また、折りたたまないこと**

バケツの水や汚物がこぼれ、床などを汚す原因になります。



折りたたみ操作をするときは、折りたたみベルトから手を離さないこと

座面が勢いよく開いて体に当たり、けがをする可能性があります。



折りたたみベルトがゆるんでいたり、外れている状態で使用しないこと

折りたたみ中に折りたたみベルトがずれたり、外れ、座面が勢いよく開いて体に当たり、けがをする可能性があります。



●お手入れ・保管時の注意 以下の行為をおこなうと、製品の変色や劣化がすすむ原因になります。

次にあげるものではお手入れしないこと

- ・シンナー ・クレンジング ・熱湯（煮沸消毒など）
- ・酸、アルカリ性洗剤 ・塩素系薬剤（洗剤）をかけての殺菌、消毒
- ・タワシ ・研磨剤入りのスポンジ ・磨き粉
- ・その他製品を傷つけるもの

製品が劣化し、けがの原因になります。



木部に直接水をかけて洗わないこと

木部分の劣化・塗装のはがれの原因になります。

屋外に放置したり、直射日光に当てたりしないこと

劣化および変色の原因になります。



アルコール以外で消毒しないこと

変色や劣化の原因になります。

製品の上に重量物をのせた状態で保管しないこと

製品が変形し、けがの原因になります。



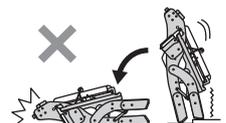
横に寝かせた状態で保管しないこと

製品の変形、破損の原因になります。



段差がある面や角度がついた面に保管しないこと

製品が転倒し、破損の原因になります。



確認しましょう

安全上の「注意」

ご使用の前に

使いましょう

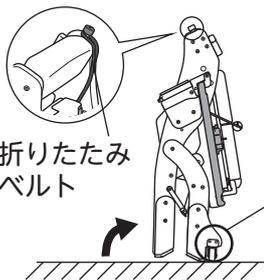
お手入れしましょう

困ったときには

✳ ご使用の前に

折りたたみベルトがかかっていることを確認して、折りたたんだ状態で設置したい場所まで、運んでください。

製品の移動のしかたは…P. 12へ

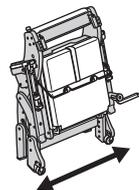


折りたたみベルト

ご注意

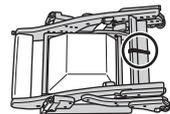
キャスターは横（左右）方向に動きます

前後方向に引きずらないようご注意ください。



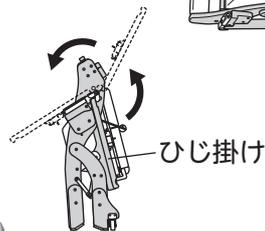
本体の開きかた

※梱包時は脚の棧の部分をももで縛って固定しているの、ひもを外してから本体を開いてください。



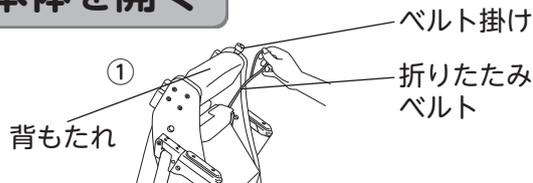
ひじ掛けを前方に回してから本体を開いてください。
(ひじ掛け先端が本体とこすれて、ひじ掛けに傷がつくことがあります)

ひじ掛けの操作方法は…P. 13、14へ



1. [折りたたみベルト] を外して本体を開く

- ①片方の手で背もたれを支え、もう片方の手で、背もたれの横のベルト掛けから、折りたたみベルトを外します。



※折りたたみベルトが突っぼって外しにくいときは、座枠を前か後ろに少し動かすと外しやすくなります。

折りたたみベルトが突っぼっている

突っぼっていない
(ベルトが外しやすい状態)

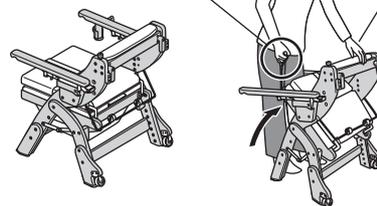


- ②折りたたみベルトを持ちながら本体をゆっくりと開きます。

※座面が重く感じる場合は、折りたたみベルトを指に掛けたまま座枠を持ちながら開いてください。



②手から折りたたみベルトを離さない
背もたれを軽く支える



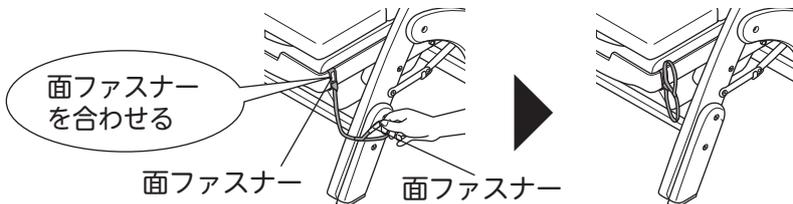
注意

折りたたみ操作をするときは折りたたみベルトから手を離さないこと

座面が勢いよく開いて体に当たり、けがをする可能性があります。

2. 本体を開いたら、[折りたたみベルト] を図のように固定する

右図の位置に固定しておく、本体を折りたたむときに、折りたたみベルトを掴みやすくなります。



確認しましょう

安全上の注意

ご使用の前に

使いましょう

お手入れしましょう

困ったときには

輸送時の振動や衝撃により、各ボルトがゆるんでいる可能性があるので高さ調節を行わない場合も必ずボルトのゆるみを確認してください。

点検箇所…P.21へ

便座 (補高脚)、ひじ掛けの高さ調節

ご使用される方の体格や症状に合わせて、便座の高さやひじ掛けの高さを調節してください。

設定の目安

- 排泄や移乗をおこないやすいよう、利用する方の体格に合った設定をしてください。また、調節はお買い上げの販売店、ケアマネジャーなど専門家に相談することをおすすめします。
- 便座高さは 37・40・43・46cm、ひじ掛け高さは 18・21・24cm に調節することができます。(開梱時は便座高さ 37cm、ひじ掛け高さ 21cm に設定されています)
- 一度調節した後でも再度調節することができますので、実際に着座および立ち上がり動作をおこない、適切な高さに調節してください。



便座の高さを調節する

1. ひじ掛けを前へ回転させる

ひじ掛けを右図のように回転させてください。
(カチッと音が鳴る (ロックがかかる) 位置まで回転してください)



2. 補高脚を本体から外し、高さを合わせて仮固定する

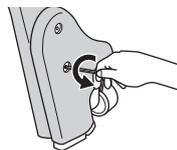
- ① 製品を図のように壁に寄りかけ、付属の六角レンチでボルトをゆるめて、補高脚を本体から取り外します。

製品を
しっかり
支える

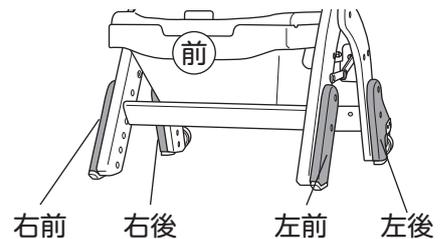


補高脚 (4本)

壁面などに
タオルを当てて
製品を寄りかける



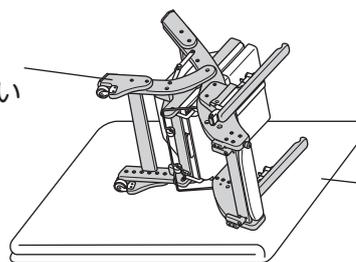
※補高脚には前後左右があるため、1本ずつ外して、同じ脚に仮固定してください。



補高脚の見分けかた P.3へ

- 横に倒す場合

製品は衝撃を与えないよう、ゆっくりと横に倒してください



厚手の毛布などで床と製品を保護してください。

確認しましょう

安全上の注意

ご使用前に

使いましょう

お手入れしましょう

困ったときには

✳ ご使用の前に

確認しましょう

安全上の注意

ご使用の前に

使いましょう

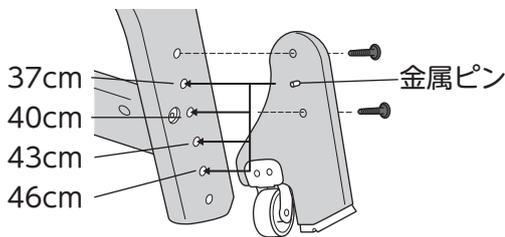
お手入れしましょう

困ったときには

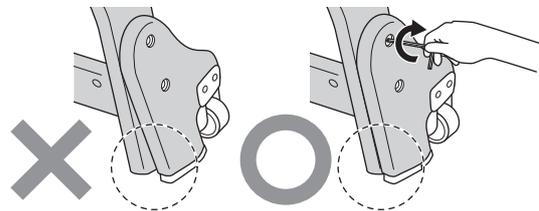
- ② 設定したい高さの穴に補高脚中央の金属ピンを差し込んで位置決めし、ボルト2本で仮固定します。(この段階ではボルトは完全に締めつけしないでください)

床面からの便座面高さ

※脚と補高脚がずれていない状態で仮固定してください。



ボルトはまっすぐ差し込んでください



ずれている

平行

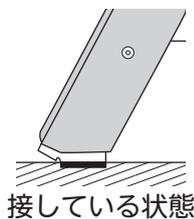
3. 本体を起こして、ボルトをしめつける

- ① 4本の補高脚を仮固定した後、本体を起こしてください。

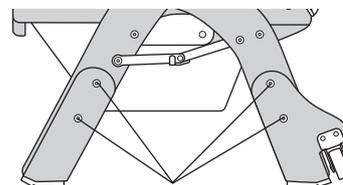
● 平坦な床面におく

● 8ヶ所しめる

- ② 本体を平坦な床の上に置き、ガタつきがないことを確認した上で、全てのボルト(8ヶ所)を完全に締めつけてください。



接している状態



4ヶ所

※反対側もしめる

※本体を床に設置後、ガタつくようなら、補高脚を固定しているボルトをゆるめ、再度締め直してください。

警告



補高脚は4本全てが同じ高さになるようにし、ボルトで確実に固定すること
補高脚を取り外した状態で使用しないこと

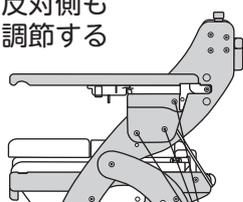
本体が滑りやすくなり、転倒や、けがの原因になります。

ひじ掛けの高さを調節する

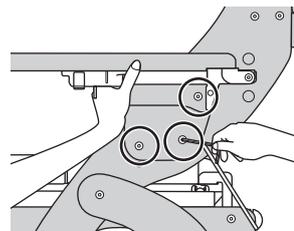
※開梱時は21cmに設定されています。

- ① ひじ掛けを支えながら、付属の六角レンチでボルト(片側3ヶ所)をゆるめて外します。
② 設定したい高さへ合わせたら、ボルトを差し込んでしめてください。
※はじめにボルトを完全に締めつけずに取り付け、最後に完全に締めつけてください。

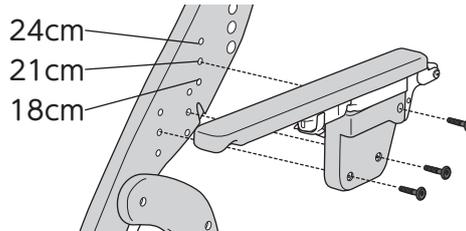
※反対側も調節する



3ヶ所



● 便座からひじ掛け上面までの高さ



注意

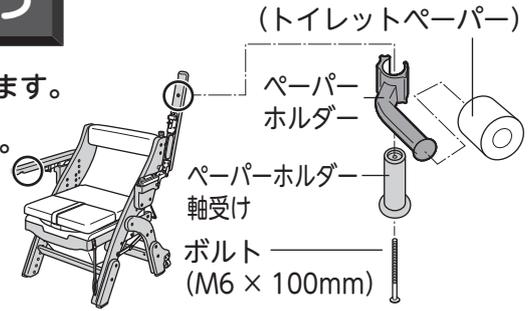


ひじ掛けは全てのボルトで確実に固定すること

ひじ掛けがゆるんで外れると、けがの原因になります。

ペーパーホルダーを取り付けましょう

- ①ペーパーホルダー軸受けにペーパーホルダーを差し込みます。
- ②ペーパーホルダー軸受けをひじ掛けにボルトで固定します。
 - ・左右どちらのひじ掛けにも取り付けられます。
 - ・ひじ掛けをはね上げない側に取り付けることをおすすめします。



※標準便座タイプのみ取り付けられます。

お手入れ方法…P. 21へ

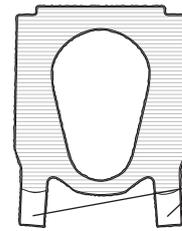
吸着便座シートを取り付けましょう

1. 便座のホコリなどをふきとります

便座のホコリや水気、汚れなどをよくふきとります。
 ※便座に除菌クリーナーを使用された場合は、一旦水ぶきし、乾かしてからご使用ください。
 (吸着力が弱くなります)

2. 保護フィルムをはがします

吸着便座シート裏面の保護フィルムをはがします。



保護フィルムが残る場合があります。完全にはがしてください。

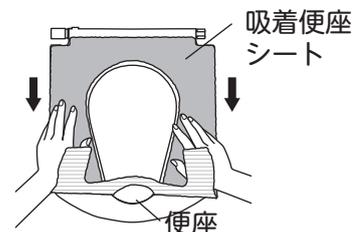
3. 便座に吸着便座シートを合わせます

便座後側の角部に吸着便座シートの角部を図のように合わせます。



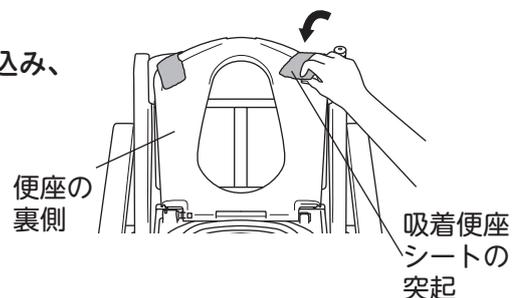
4. 吸着便座シートを便座に貼り付けます

便座上面に沿わせるようにして吸着便座シートを便座に貼り付けます。



5. 吸着便座シートを便座の裏面に巻き込み、貼り付けます

- ①便座を上げます。
- ②吸着便座シートの突起を図のように便座の裏側に巻き込み、突起を便座の裏側に貼り付けます。



確認しましょう

安全上の注意

ご使用前に

使いましょう

お手入れしましょう

困ったときには

使いましょう (操作方法)

製品の折りたたみかた、開きかた

日中など、ポータブルトイレを使わないときに折りたたむことができます。

※必ずバケツの中に水や汚物が入っていない状態で折りたたんでください。

※またはバケツを本体から外してください。

注意



バケツに水や汚物が入っている状態で折りたたまないこと

バケツの水や汚物がこぼれ、床などを汚す原因になります。



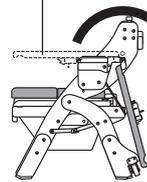
折りたたみかた

1. 折れ座面を閉じる

折れ座面が開いているときは閉じてください。



ひじ掛け



先にひじ掛けを後ろへ回転させておくと、折りたたむときにひじ掛けが邪魔になりません。

ひじ掛けの回転方法は P.13・14へ

2. [折りたたみベルト] を持ちながら、ゆっくり座面を持ち上げて、本体を自立させる

①片方の手で背もたれを支えながら、もう片方の手の指を折りたたみベルト先端の輪にかけます。

②ベルトを指に掛けた方の手で座枠を持ち、本体が自立するところまで折りたたみます。

折りたたみベルト
先端の輪



背もたれ



座枠

注意



折りたたみ操作をするときは、折りたたみベルトから手を離さないこと

座面が勢いよく開いて体に当たり、けがをする可能性があります。

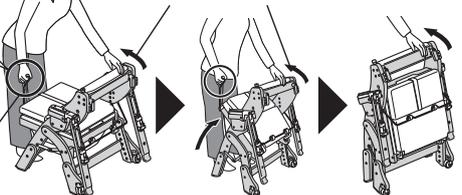
座面が重い場合のたたみかた

折りたたみベルトを持った手と逆の手で背もたれを持ち、その背もたれを手前(自分の方)に傾けながら、ゆっくりと折りたたみベルトを引き上げると、座面が上がり、折りたたまれます。

折りたたみベルト
手から離さない



背もたれを、折りたたみきるまで、手前に少しずつ傾ける



3. [折りたたみベルト] を背もたれ横のベルト掛けにかける

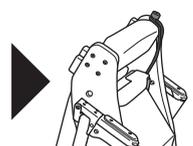
①折りたたみベルトが、ベルト掛けを超えているところまで折りたたまれたことを確認します。

②背もたれ横のベルト掛けに折りたたみベルト先端の輪をかけると、折りたたみが保持されます。

折りたたみベルト
ベルト掛け
超える



●折りたたみ保持状態



確認しましょう

安全上の注意

使用前の注意

使いましょう

お手入れしましょう

困ったときには

4. ひじ掛けを軽く押し、本体に沿わせる



折りたたみベルトが突っ張っている状態のときは、座面を押すとよりスリムに収納できます。

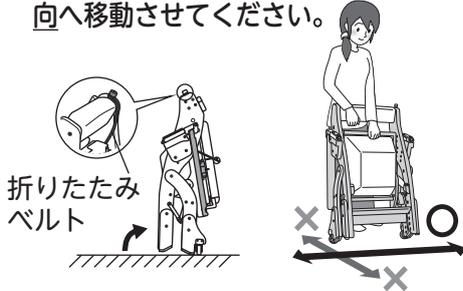
開きかた

P. 7をご覧ください。

製品の移動のしかた

折りたたんだ状態で移動させる

- ① 折りたたみベルトがベルト掛けに掛かっていることを確認してください。
- ② 本体を後方斜めに傾けてキャスターを床につけ、ゆっくり横（左右）方向へ移動させてください。



キャスターは横（左右）方向に動きます。前後方向には動かないので引きずらないようご注意ください。

注意
製品を引きずらないこと
床を傷つける可能性があります。

壁とベッドの間に入れる場合

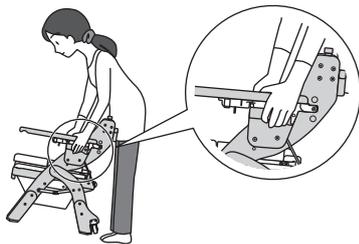
最後までたたんだ状態（スリムな状態）だと、すきまに流れやすくなります。
※もう片方の手で座枠を支えてください。



※段差など、キャスターが使えない場所では、背もたれを持って移動させてください。

開いた状態で移動させる

ひじ掛けの出っ張りを持って、本体を持ち上げ、移動させてください。



注意
ひじ掛けを持って、
本体を持ち上げないこと
ひじ掛けが破損したり、
けがの原因になります。

※キャスターを使って移動することもできます。



※キャスターは横（左右）方向に動きます。

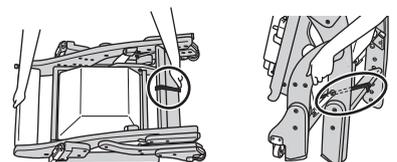
※製品を下ろすときは、足の上に下ろさないよう、注意してください。

警告

- 人が座った状態のままや、物を乗せたまま移動させないこと
 - バケツ内に水や汚物を入れたまま移動させないこと
- けが、故障、破損、服や床を汚す原因になります。



車に積むときなど、右図のような持ちかたで運ぶ場合は、必ず梱包時と同じ場所をひも等（お客様でご用意ください）で縛ってください。製品がふいに開き、手をはさむ可能性があります。



確認しましょう

安全上の注意

ご使用の前に

使いましょう

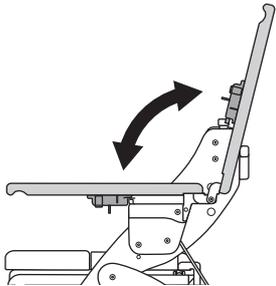
お手入れしましょう

困ったときには

♡ 使いましょう (操作方法)

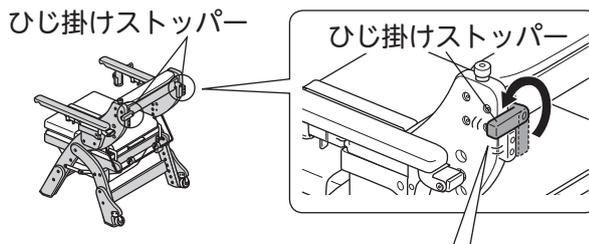
ひじ掛けの操作方法

ひじ掛けをはね上げする場合



ひじ掛けストッパーが縦向きの場合、下図の位置(横向き)へ回転させてください。

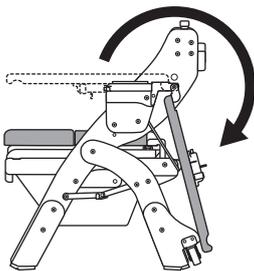
※ひじ掛けストッパーは、はね上げたひじ掛けが壁などに当たらないようにする回転止めです。



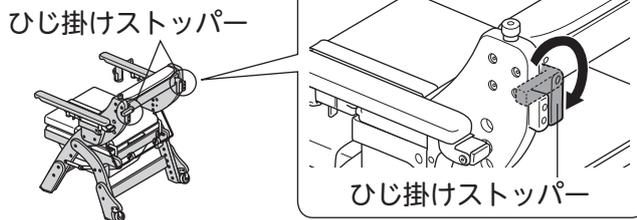
※ [ひじ掛けストッパー] はひじ掛けをはねあげた際の衝撃を和らげるために若干動く構造となっています。

ひじ掛けを回転させる場合

※はね上げたひじ掛けが邪魔な場合は後ろへ回転させたまま使えます。



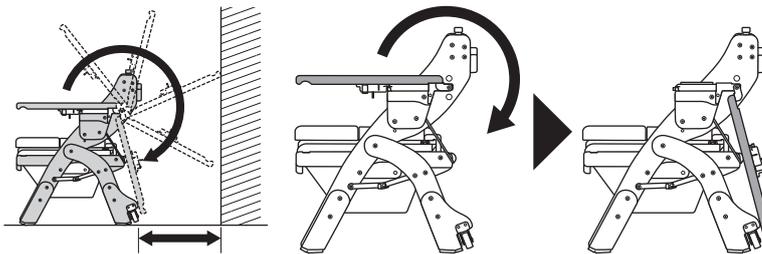
①ひじ掛けストッパーが横向きの場合、下図の位置(縦向き)へ回転させてください。



②ひじ掛けを、後ろ脚まで回転させてください。

※壁から離してから回転させてください。

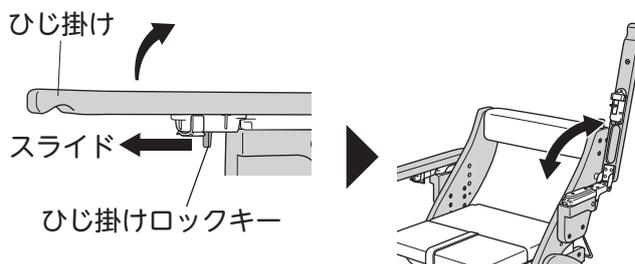
※トイレトペーパーを外してから回転させてください。



自動でロックがかかる設定

1. ひじ掛けをはね上げる

[ひじ掛けロックキー] を図のようにスライドさせながら、ひじ掛けをはね上げます。



確認しましょう

安全上の注意

ご使用の前に

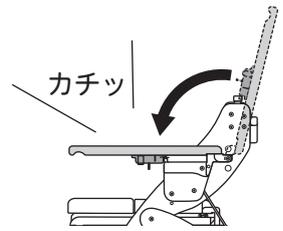
使いましょう

お手入れしましょう

困ったときには

2. ひじ掛けを下ろす(自動でロックがかかる)

ひじ掛けをカチッと音がするところまで下ろすと、自動でロックがかかります。

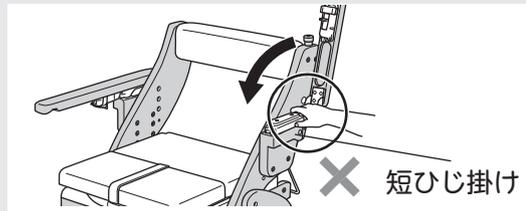


注意



ひじ掛けを下げる場合、短ひじ掛けの付け根に手や指を置いたまま、ひじ掛けを下ろさないこと

ひじ掛けと短ひじ掛けの間で指をはさみ、けがをする可能性があります。



確認しましょう

安全上の注意

ご使用の前に

使いましょう

お手入れしましょう

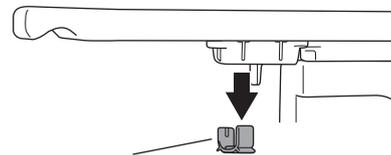
困ったときには

自動でロックがかからない設定

※毎回、ひじ掛けのロックを解除する動作が困難な方におすすめです。

1. ロックキー固定部材を外す

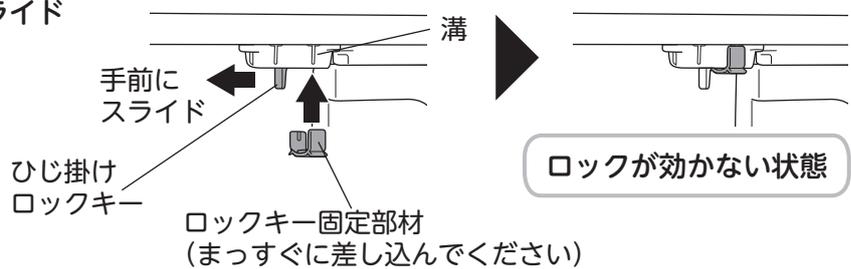
ロックキー固定部材を下にスライドさせて外します。



ロックキー固定部材

2. ひじ掛けロックキーをロックキー固定部材で固定する

ひじ掛けロックキーを手前にスライドさせ、その状態のまま、ロックキー固定部材を後方の溝にはめます。

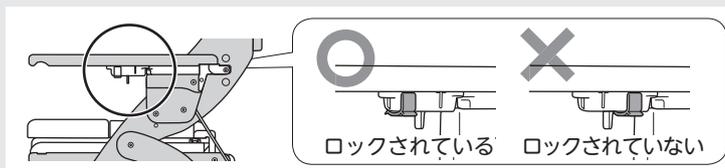


注意



ひじ掛けをはね上げずに使用する場合や、ひじ掛けに強い力が加わる場合は、ひじ掛けをロックすること

ひじ掛けの破損の原因になります。



以下の動作はひじ掛けに強い力が加わるため、必ずひじ掛けを固定すること

※ひじ掛けを支えに起き上がる時



※ひじ掛けを支えに立ち座りする時



ロックを解除した状態のひじ掛けを持って、本体を移動させたり、持ち上げたりしないこと

けが、故障、破損の原因になります。

はね上げたひじ掛けに力かけたり、もたれたりしないこと

製品が破損する原因になります。



使いましょう

警告



毎回、ご使用前に各部のガタつきなど、異常がないか点検すること

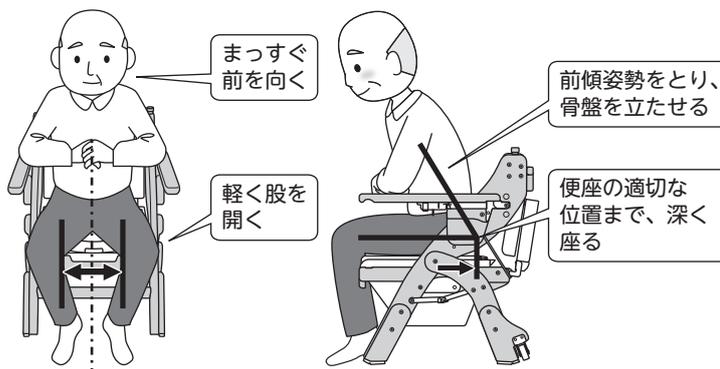
詳しくはP.21「点検のしかた」へ

使いかた

必ず、P.5～6「安全上のご注意」を確認してください。

理想的な排泄姿勢

便座へ十分に近づき、ゆっくり座ってください。



汚物処理の準備

ポータブルトイレ用処理袋を使われる場合は、ポータブルトイレ用処理袋に添付の説明書をご覧ください。

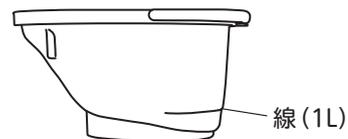
使用前の準備のしかた

1. バケツに水を入れます

バケツの内側の線(1ℓ)まで水を入れてください。

※バケツに水が入っていない場合は、防臭効果が減少します。

※バケツの水が1ℓより少ない場合、バケツを持ち運ぶ際にバケツが不安定になることがあります。



2. バケツを設置します

バケツを本体にセットし、バケツの蓋を外してご使用ください。

※バケツ内へは、ティッシュペーパーなどトイレトイレットペーパー以外のものは入れないこと。

トイレで処理する際、詰まる原因になります。

・本製品には防臭消耗品が入っております。ご活用いただき、快適にお使いください。

詳しくは クリック

・便の量が多いときなどは、便が水に隠れる程度に水量を増やしてください。

・弊社の防臭消耗品は便の量に対して使用量を決めています。

十分に防臭効果を得るためには、水の量に関わらず一回のご使用で、各防臭消耗品の指定する分量を入れてください。



確認しましょう

安全上のご注意

ご使用前に

使いましょう

お手入れしましょう

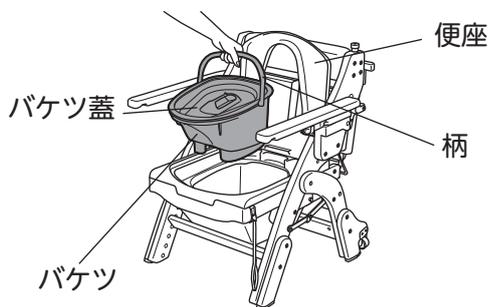
困ったときには

汚物処理のしかた

1. バケツを取り出します

便座を上げ、バケツ蓋をして、柄をしっかり持ってゆっくりとバケツを取り出します。

※バケツを取り出すときやバケツを持って移動するときは、中身がこぼれないようご注意ください。



2. 汚物の処理をします

汚物をトイレに流し、バケツを洗浄します。

※図のように、バケツの柄を持ち、もう片方の手でバケツ後方を支えると安定してトイレに流せます。

処理後は、逆の手順でバケツを設置し「使用前の準備のしかた」に戻り、使用前の準備をしてください。



詳しくは…P. 15へ

※弊社バケツ用の防臭消耗品は、汚物と一緒にトイレへ流すことができます。浄化槽に流しても問題ありません。

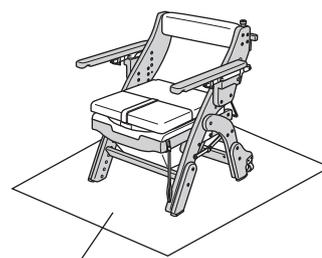
受け板に汚物がこぼれた場合は…
P. 18～21 お手入れしましょうへ

より快適にご使用いただくために

■別売品のご紹介

ポータブルトイレ用防水マット

ご利用者様が、着座する前に用便されてしまう場合があります。ポータブルトイレ用防水マットを敷いておくと、より快適にお使いいただけます。



ポータブルトイレ用防水マット

確認しましょう

安全上の注意

ご使用前の前に

使いましょう

お手入れしましょう

困ったときには

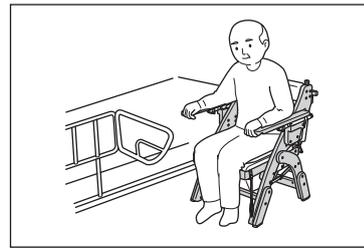
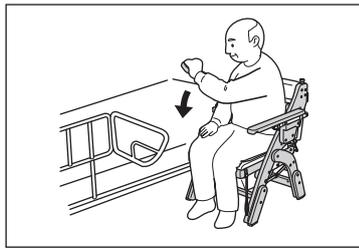
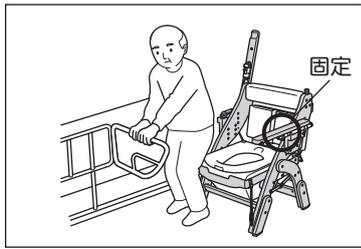
♡ 使いましょう

移乗のしかた (例)

ひじ掛け操作時の注意 P. 14 へ

●立ち上がって移乗ができる場合

ひじ掛けをはね上げた状態でベッドの移動用バーを持ちながら立ち上がって移乗します。便座に座った後、ひじ掛けを下ろして使用できます。



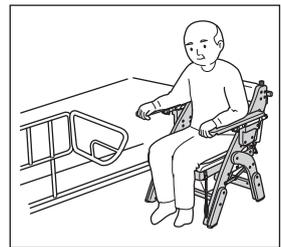
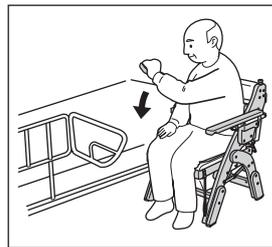
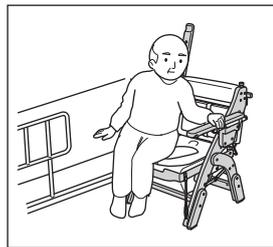
●立ち上がれないが座位移乗ができる場合

ひじ掛けをはね上げた状態で短ひじ掛けを持って身体を引き寄せながらトイレに移乗し、奥のひじ掛けをつかんで身体を便座の中央まで引き寄せます。便座に座った後、ひじ掛けを下ろして使用できます。

短ひじ掛けを持って体をポータブルトイレへ引き寄せる

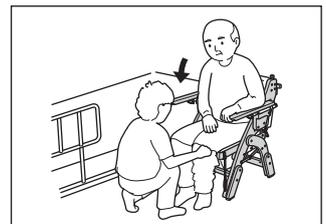
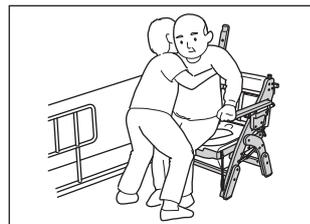
ひじ掛けを支えに体をさらに引き寄せ、移乗する

移乗後はひじ掛けを下ろす



●介助される方が補助して移乗させる場合

ひじ掛けをはね上げた状態で身体を支えてトイレに移乗させます。便座に座った後、ひじ掛けを下ろして使用できます。



こんな使いかたができます

座面の開閉動作ができないご利用者様は、バケツ蓋を便座の上ののせて蓋をしてください。ある程度臭いのモレを防ぐことができます。

注意



●便座の上にバケツ蓋をのせた状態で、座ったり、座面を閉じないこと

製品や、バケツ蓋が破損する原因になります。

バケツ蓋



※バケツ蓋が汚れている場合は、洗ってからご使用ください。

確認しましょう

安全上の注意

ご使用の前に

使いましょう

お手入れしましょう

困ったときには

👉 お手入れしましょう

下記の手順に従って、こまめにお手入れしてください。

注意



次にあげるものではお手入れしないこと

- ・シンナー ・クレゾール ・酸、アルカリ性洗剤
 - ・塩素系薬剤（洗剤）をかけての殺菌、消毒 ・タワシ
 - ・研磨剤入りのスポンジ ・磨き粉 ・その他製品を傷つけるもの
- 製品が劣化し、けがの原因になります。



木部に直接水をかけて洗わないこと 木部分の劣化・塗装のはがれの原因になります。

お掃除のしかた

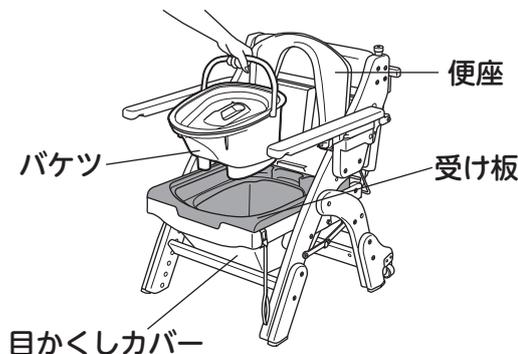
ポータブルトイレ本体のお手入れ方法

家具調トイレは木部に汚れがしみこむと、とれにくくなり、臭いの原因になります。いつまでも気持ちよくお使いいただくために、こまめに汚れを落としてください。汚れはスポンジかやわらかい布に、住宅用洗剤（中性）をふくませてふきとってください。



便座・受け板・バケツ・目かくしカバーのお手入れ方法

便座、受け板、バケツ、バケツ蓋、目かくしカバーは本体から取り外し、水洗いすることができます。以下の手順で取り外してください。



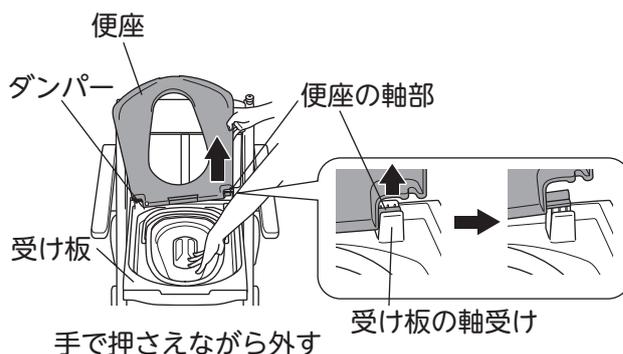
※標準便座、ソフト便座共通

1. 便座を取り外します

- ①座面を開けて、便座を上げます。
- ②受け板を手で押さえながら、図のように便座の右側を引き上げ、軸部を外します。



ダンパーが外れた場合は、「P.19 便座の取り付けかた」をご参照の上、取り付けてください。



👉 確認しましょう

! 安全上の注意

✖ ご使用の前に

👉 使いましょう

👉 お手入れしましょう

? 困ったときには

🔍 お手入れしましょう

※ソフト便座の場合

ソフト便座は便座ベース板から取り外すことができます。裏面の凸部を押して取り外してください。

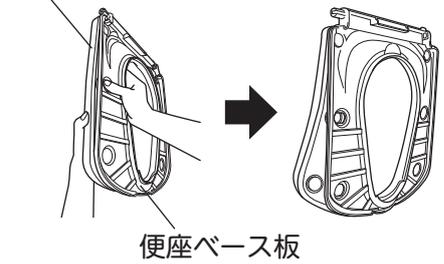
注意



ソフト便座と便座ベース板を取り外す際、無理に引っばらないこと

強く引っばると、ソフト便座が破損します。

ソフト便座



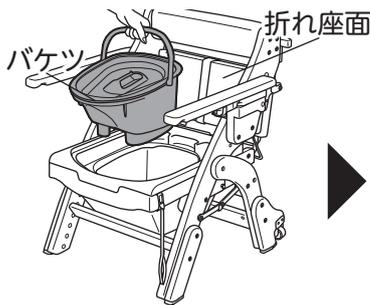
便座ベース板

ソフト便座は、水で丸洗いです。

(汚れているときは薄めた中性洗剤を使用してください)

2. バケツ・受け板・目かくしカバーの順に取り外します

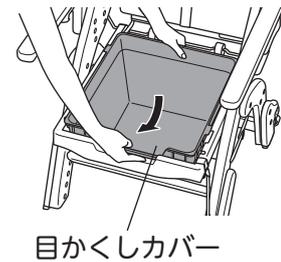
①折れ座面を開け、バケツを取り出してください。



②受け板を外してください。



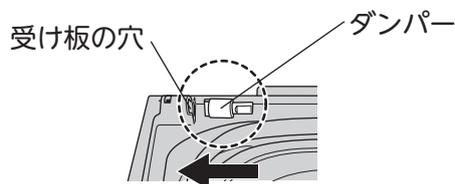
③目かくしカバーを外してください。



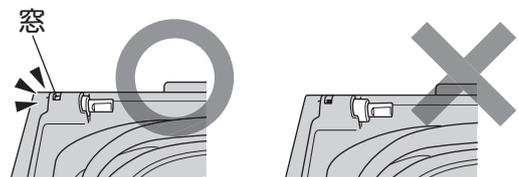
お手入れが終わったら、目かくしカバー、受け板、便座、バケツの順に設置します。

●便座の取り付けかた

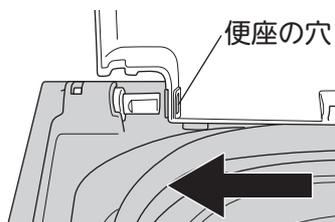
①受け板の穴に、ダンパーをまっすぐ差し込みます。



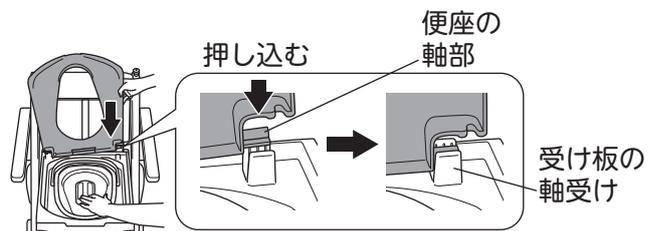
②穴の窓から、ダンパーの白い部分が見えるまで、しっかり差し込みます。



③ダンパーに便座の穴を合わせて差し込みます。



④便座の軸部を受け板の軸受けに上から押し込みます。



確認しましょう

！安全上の注意

✕ご使用の前に

♡使いましょう

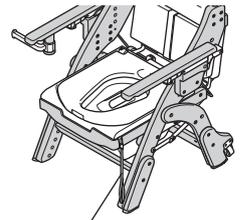
💧お手入れしましょう

? 困ったときには

[折りたたみベルト] の取り外し方、取り付け方



取り付けかたを動画でご覧いただけます。



折りたたみベルト

外しかたは P.18-19 へ

[折りたたみベルト] は取り外して洗えます。下記の手順で取り外してください。
 ※洗濯機で洗う場合は、洗濯ネットを使用して 30℃以下の弱流水でおこない、
 中性洗剤を使用してください。塩素系薬剤、乾燥機は使用しないでください。
 ※面ファスナーのつき方が悪くなったら、新しい折りたたみベルトを購入してください。

1. 樹脂部品を取り外す

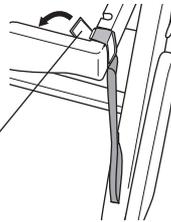
バケツ、受け板（便座が取り付けいた状態）、目かくしカバーを外し、木枠が見えるようにします。

※ P.18 の「1. 便座を取り外します」は不要です。

2. 下記の手順で折りたたみベルトを取り外す

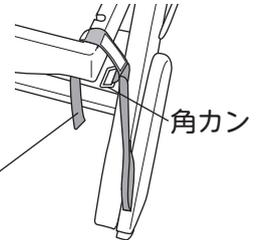
①面ファスナー部分をはずす

面ファスナー



②角カンから折りたたみベルトを抜く

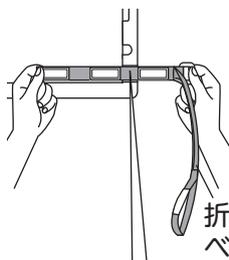
折りたたみベルト



角カン

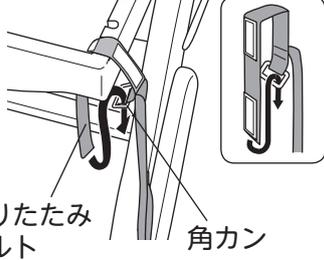
3. 下記の手順で折りたたみベルトを取り付ける

①図の位置に合わせる



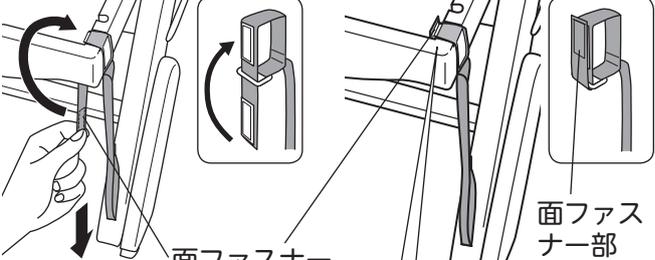
左から2番目と3番目の面ファスナーの間が木枠の溝の上部にくるようにする

②角カンに折りたたみベルトを通す



折りたたみベルト 角カン

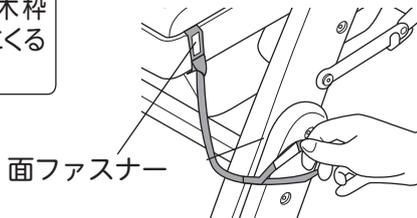
③角カンに通した折りたたみベルトを下に引っ張りながら折り返し、面ファスナー部に固定する



面ファスナー 面ファスナー部

木枠との間にすきまがないよう、引っ張ってから固定する

④右図の位置に固定しておく



面ファスナー

本体を折りたたむときに折りたたみベルトをつかみやすくなります

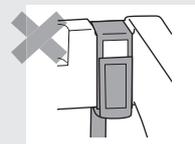
注意



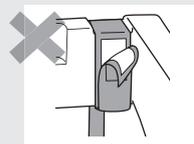
折りたたみベルトがゆるんでいたり、外れている状態で使用しないこと。

折りたたみ中に折りたたみベルトがずれたり、外れ、座面が勢いよく開いて体に当たり、けがをする可能性があります。

面ファスナーがずれている



面ファスナーがはがれかけている



確認しましょう

安全上の注意

ご使用前に

使いましょう

お手入れしましょう

困ったときには

🔍 お手入れしましょう

吸着便座シートのお手入れの方法

40℃以下のぬるま湯に中性洗剤を使って洗い、日陰干しにしてください。

※洗剤を使ってポータブルトイレをお手入れするときは吸着便座シートを外してください。

※洗濯時に柔軟剤や漂白剤を使用しないでください。

※初めて洗濯するときは、繊維が多少抜けることがありますが、品質上の問題はありません。

※乾燥機を使用しないでください。

※裏面の吸着面を合わせて干さないでください。

※繰り返し洗濯してご使用いただけますが、吸着力が弱くなりましたらお買い上げになった販売店にて、新しい吸着便座シートをお求めください。

点検のしかた

安全に長くお使いいただくために、必ず点検やメンテナンスをおこなってください。

お手入れして取り付けた後や、調節の後、ご使用になる前に、各項目を確認してからご使用ください。

①ご使用の前にひじ掛けや背もたれを軽くゆすり、各部にガタつきなど、異常がないか点検すること



●脚部がガタつく場合

補高脚のボルトをしめなおしてください。

詳しくは P. 8 へ

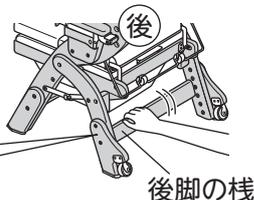
●ひじ掛けがガタつく場合

ひじ掛けのボルトをしめなおしてください。

詳しくは P. 9 へ

②後脚の棧が動かないか点検すること

※補高脚を取り外した図

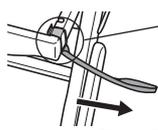


●棧が動く場合

後脚の棧のボルトをしめなおしてください。

※後脚の棧のボルトは座面高さが一番高い(46cm)とき以外は補高脚で隠れているので、P.8～9を参照して補高脚を一度取り外してしめてください。

③折りたたみベルトがゆるんでいないか、点検すること



引っ張る

面ファスナーの固定部が、回転する×
回転しない○

●面ファスナーの固定部が回転する場合

折りたたみベルトを取り付けなおしてください。

取り付け方は P.20 へ

正しく取り付けてもガタつきが解消しない場合や不具合を感じた場合はただちに使用をやめ、お買い上げの販売店や弊社「お客様相談室(フリーダイヤル:0120 - 86 - 7735)」までご相談ください。

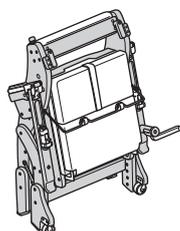
保管のしかた

平らな面に、下図のように立てた状態で保管してください。

開いた状態



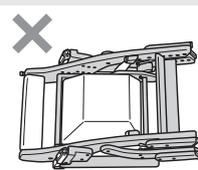
折りたたみの状態



注意

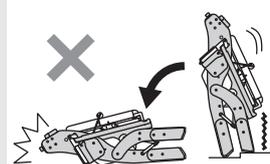
横に寝かせた状態で保管しないこと

製品の変形、破損の原因になります。



段差がある面や角度がついた面に保管しないこと

製品が転倒し、破損の原因になります。



確認しましょう

安全上の注意

ご使用の前に

使いましょう

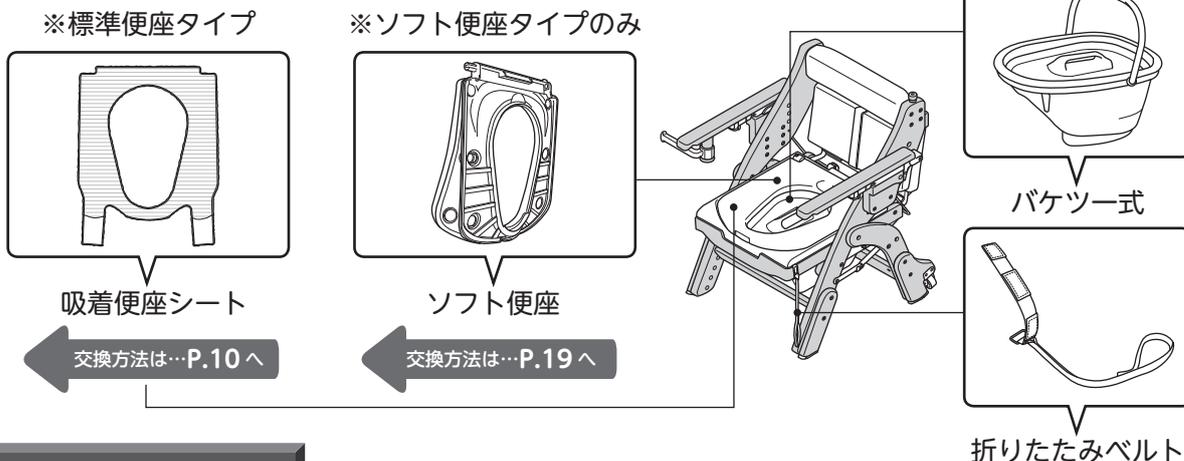
お手入れしましょう

困ったときには

? 困ったときには

交換部品

各部品が汚れたり、劣化・破損した場合は、お買い求めになった販売店へお問い合わせの上、部品を購入し、交換してください。



よくあるご質問

Q ソフト便座は水で丸洗いですか？



A. 水がしみこまない素材を使用しており、水で丸洗いです。汚れているときは、薄めた中性洗剤を使用してください。

保証とアフターサービス

商品のご購入に関するお問い合わせ、ご相談は…お買い求めの販売店へ
商品の仕様などに関するお問い合わせ、ご相談は…下記お客様相談室へ

不具合が発生したとき

万一故障したり、また異常を感じた場合は、ご自分で修理、改造などを絶対にしないで、お買い上げの販売店にご相談ください。

●保証期間中は

保証書の規定に従って修理させていただきますので、製品に保証書（取扱説明書）を添えて、お買い上げの販売店にご依頼ください。

●保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

●修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代などで構成されています。

技術料 は、診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業、作業員の出張にかかる費用です。

部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。

アロン化成株式会社

フリーダイヤル

お客様相談室 ☎0120-86-7735

(受付時間) 祝祭日以外の
月～金 9:00～17:00
(12:00～13:00 は除く)

確認しましょう

安全上の注意

ご使用前に

使いましょう

お手入れしましょう

? 困ったときには

保証書

この製品は、厳密な品質管理及び検査を経てお届けしたものです。お客様が取扱説明書・本体添付シール等の注意書きに従った使用状態で保証期間内に万一故障した場合には、本保証書記載内容により無料修理いたします。有効期間は、お買い上げの日より1年間です。

1. 修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。修理に際しては、本保証書をご提示、もしくは添えてください。
2. ご贈答、ご転居でお買い上げの販売店に修理をご依頼できない場合は、お客様相談室にご相談ください。
3. 本保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
4. 保証期間内でも下記の場合は、有料修理になります。
 - 1) 保証書のご提示がない場合。
 - 2) 本保証書のお買い上げ日、販売店の記入がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
 - 3) 使用上の誤り、あるいは改造、修理、調整による故障または損傷。
 - 4) お買い上げ後の輸送、移動、落下、その他の不適切な取り扱いによる故障または損傷。
 - 5) 火災、地震、塩害、ガス害、風水害、落雷、その他の天災地変による故障または損傷。
 - 6) 消耗品の損傷及び汚れ。
 - 7) 業務用または一般家庭用以外にご使用の場合の故障または損傷。
5. 本保証書は、日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
6. 保証書に明示した期間、条件のもとにおいて、無料修理をお約束するものです。したがって、保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。

〈個人情報の取扱いについて〉

- 1) 保証書にご記入いただいた住所・氏名などの個人情報は、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために利用いたします。
なお、本書にてお預かりするお客様の個人情報をお客様の同意を得ることなく、第三者に提供または開示いたしません。
- 2) 修理のために、当社から修理委託している保守会社などに必要なお客様の個人情報を委託する場合、守秘義務契約を結び当社と同等の水準でお客様の個人情報を取り扱うように管理いたします。

★お買い上げ日	年 月 日
保証期間	お買い上げ日より1年
お客様	ご住所 〒
	ご芳名 TEL
★販売店	住所 〒
	店名 TEL

★ 印欄に記入のない場合は有効となりませんので、必ず記入の有無をご確認ください。
もし記入のない場合は直ちにお買い上げの販売店にお申し出ください。

■保証書について

必ず、お買い上げの販売店からお買い上げ日・販売店名などの記入をお確かめのうえ受け取り、保証書内容をよくお読みの上、大切に保管してください。尚、保証書の再発行はいたしません。

- 木製部分は天然素材なので、色や木目はカタログなどと多少異なる場合がありますのでご了承ください。
- 製品の仕様および価格は、予告なく変更する場合があります

製品に関するご意見・お問い合わせは

お客様相談室

フリーダイヤル ☎0120-86-7735
(受付時間) 祝祭日以外の月～金 9:00～17:00
(12:00～13:00はのぞく)

製造・発売元



アロン化成株式会社

ライフサポート事業部

〒105-0003 東京都港区西新橋2-8-6 住友不動産日比谷ビル8階

URL <http://www.aronkasei.co.jp/>

安寿

検索

18.01 919099-1